

兵庫県が取り組んでいくこと

● 観光関連事業者及び支援団体等相互の連携

観光関連事業者等の連携を促進し、ユニバーサルツーリズムのネットワーク化を図ります。

● 観光関連事業者に対する支援

専門家によるアドバイス等、受入体制充実のために必要な支援を行います。

● 観光関連事業者の登録

高齢者、障害者等の受入に積極的に取り組む観光関連事業者を登録します。

● 人材の育成

おもてなし研修等を実施し、ユニバーサルツーリズムの担い手を育成します。

● 相談員

ユニバーサルツーリズムの相談・助言を行うコンシェルジュ等を育成します。

● 普及啓発

フォーラムやセミナー等を通して、ユニバーサルツーリズムの普及啓発を行います。

● 情報提供

ホームページやガイドブック等を通してユニバーサルツーリズム情報を提供します。

● 財政上の措置

ユニバーサルツーリズム推進のための財政上の措置を講じます。

● 推進体制の整備

ユニバーサルツーリズムの施策を推進する体制を整備します。

知事からのメッセージ



兵庫県知事
齋藤 元彦

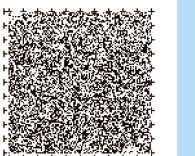
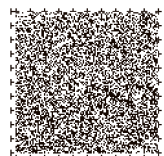
「行きたいところへ自由に旅行がしたい」。高齢の方や障害のある方のこうした声に応えるため、全国初のユニバーサルツーリズム推進条例を制定しました。

目指すのは、誰もが「行けるところ」ではなく、「行きたいところ」に旅行できる兵庫。

国内外から多くの人々が訪れる2025年の大阪・関西万博などを見据え、受入体制の充実や気運醸成など、ソフト・ハード両面の対策を進め、誰ひとり取り残すことなく、誰もが気兼ねなく旅行を楽しめる環境づくりに力を注いでまいります。

発行：2023年8月／兵庫県

05 産 P2-029A4



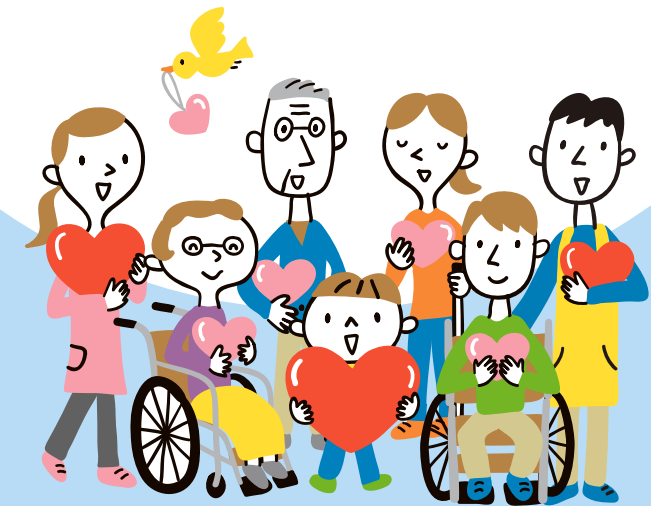
全国に先駆けて
条例化！



「行けるところ」から 「行きたいところ」へ

ユニバーサルツーリズム推進条例

（ 高齢者、障害者等が円滑に
旅行することができる環境の整備に関する条例 ）



ユニバーサルツーリズムとは
年齢や障害の有無等に関わらず、
様々な人が気兼ねなく参加できる旅行のこと

兵庫県

今の社会の流れ

● 社会潮流

人口の減少、少子高齢化の進行

総人口が減少する中、高齢者・障害者が県内人口の3割以上を占め、今後も増加基調にあります。

「誰一人取り残さない」視点

SDGsで掲げる「誰一人取り残さない」視点は、観光分野においても重要です。

● ユニバーサル社会づくりに向けた社会的要請

障害者差別解消法の改正に伴い、2024年4月から事業者に対しても障害者への合理的配慮の提供が義務化されます。

● 観光面でのニーズの高まり

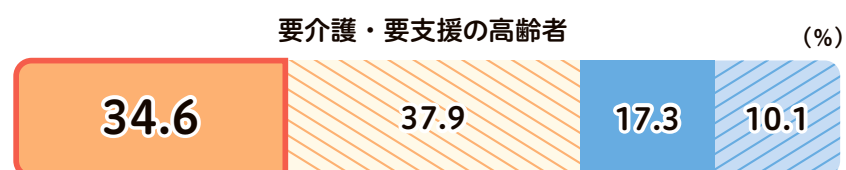
大阪・関西万博（2025年）の開催など国内外からの誘客機会を見据え、多様な来訪者の受入に備えることが必要です。



アンケートから見える問題

Q これまで、障害等があることを理由に旅行をあきらめたことはありますか？

ユニバーサルツーリズム利用者ニーズ調査（令和4年度兵庫県実施）



あきらめたことがある ない
旅行をすることを考えたことがない 無回答

高齢者・障害者等の多くが障害等を理由に旅行をあきらめている。

課題

- 旅行者（高齢者・障害者等）・受入側（観光関連事業者）双方の不安感の払拭
- ユニバーサルツーリズム推進の担い手育成
- ユニバーサルツーリズム推進の気運醸成

全国初の条例を作りました

基本理念

持続可能な観光地域づくりの推進とユニバーサル社会の実現を目指し、高齢者、障害者、乳幼児を同伴する人等、移動や宿泊に困難を伴う人が円滑に旅行することができる環境を整備します。

目指すべき姿

行きたいところに旅行できる環境の整備

高齢者、障害者等が希望する目的地や交通手段などを自由に選択することができ、家族や友人と一緒に安全で快適な旅行を楽しむことができる環境を整備します。



取組の方向性

- 1 受入体制の充実**
高齢者、障害者等に対する接遇の向上などによる受入体制の充実を図ります。
- 2 情報等を得られる機会の確保**
高齢者、障害者等や観光関連事業者等が必要な情報、知識・技能を得られる機会を確保します。
- 3 気運醸成**
ユニバーサルツーリズムの推進に関する気運を醸成します。

